



赤磐市議会だより

平成29年12月議会 第51号



12月議会のあらまし 2P

委員会のうごき 6P

12人の議員が一般質問 9P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

発行／平成30年1月29日 編集／赤磐市議会広報編集特別委員会 所在地／〒709-0898 岡山県赤磐市下市344番地 TEL(086)955-2945 FAX(086)955-5348

12月定例会の あらまし

議案審議

12月定例会を11月27日から12月18日まで、22日間の会期で開催した。
人事案件20件を同意、承認案件1件を承認、議案23件を可決とし、請願2件を
不採択とした。

財産の取得

問 財産（ＣＴ）の取得について、入札の状況、今後の利用計画についてどうなっているのか。

答 一般競争入札で東芝メデイカルシステムズ株式会社岡山支店の応札となった。がんの早期発見や高齢者に多い骨粗鬆症による骨折の診断等に活用していく。

補正予算

一般会計

問 河川費の補償金について

答 小野田川改修工事

に伴い、固定堰から電動化された取水施設が追加されたため、維持管理費が著しく増加するため補償されるものである。

問 教育費の工事請負費について、特別支援学級が5学級増に伴うものがあるが、どこの学校か。また、全体はどうなっているのか。

答 来年度、山陽西小学校1学級、豊田小学校1学級、桜が丘小学校3学級の増である。

今年度の状況は全体で、小学校27学級、中学校で13学級である。中学校は今年度と同様の見込みである。

問 住民情報システム運営管理費について、マイナンバー制度の改正に伴うものか。

答 住民情報オンライン

システムの改修費、子ども医療費助成を償還給付から現物支給に変更するため、情報連携を行うためのデータのレイアウトの変更等である。

問 マイナンバーカードの普及率は。また、普及率を上げる取り組みは。

答 平成29年10月末現在で8・44パーセントである。日曜日に交付するなどの工夫も行ったが大きな伸びはなかった。今後はコンビニ交付に取り組み等、カードを利用する機会を増やし利便性を周知していく。

問 財産購入費、補償、補填および賠償金について、熊山駅前整備事業関連だと思いが詳しい説明を。

答 2682万3000円は、宅地1313平方

メートルおよび農地、宅地見込み地であるが、273平方メートルを購入するための費用である。

1億384万3000

円は、車庫1件、鉄骨造りおよび木造平屋建て1

94平方メートル、住宅2軒、木造2階建て43

7平方メートル、コンクリートブロック造りおよ

び木造併用2階建て172平方メートルの移転補償費等である。

問 事業着手予定、完了予定はいつか。

答 契約等が調ったら、着手をする。完了は合併特例債事業のため、平成32年3月を期限としている。

問 扶助費について、対象児童数、内容の説明を。

答 当初予算では、支給対象児童数を延べ6万6348人と見込んでいた

が、2228人増と見込んだため。

問 児童福祉費の委託料の説明を。

答 私立保育園・こども園の職員の処遇改善の費用である。

今回新たに設けられた処遇改善の内容は、技能、経験に応じたもので、経験年数7年以上の者が月額4万円、3年以上の者が月額50000円の加算対象となっている。

問 私立保育園・こども園の職員の処遇改善のために加算が伴うということだが公立についてはどうか。

答 市立保育園の職員については、職員処遇として人事院勧告等に対応している。

問 熊山駅前整備事業は、平成32年3月までに

完了という事だが完成のイメージ図の設置は。

答 公共工事への協力、理解をしてもらわないといけない見地からも、ぜひこのイメージ図の設置をしたいと考えている。これによって、市民が市唯一のＪＲ駅の熊山駅を大事に考えてもらい、この事業が市民の支持をもらえるよう、設置を続けていきたい。

介護保険 特別会計

問 総務費委託料、システム保守等委託料338万2000円の説明を。

答 介護保険事業計画は、法律で3年ごとに策定が義務づけられており、それにあわせて制度改正が行われる。このたび平成30年度から32年度の第7期に向けて、制度改正内容における平成30年4月施行のシステム対応の内容が明らかにになり、システム改修に必要が生じたため、補正で第7期に向けたシステム改

修を行うものである。

訪問看護ステーション事業特別会計

問 サービス事業費の需用費10万8000円の燃料費は人員が増えたことによるための増額補正だが、どれだけ増えたのか。

答 平成29年度当初予算要求時は、平成27年度の実績および平成28年度前半の状況から利用者延べ人数を月180人で見込んでいた。平成28年度に入り、市内の民間訪問看護ステーションの閉鎖もあり、現在では1カ月当たり240人の訪問実績となっている。また、民間の訪問看護ステーションが積極的に事業展開をしない市北部地域の契約件数も増加してきており、当初見込みより燃料費のガソリン代が増加している。

水道事業会計

問 水道建設改良費の委

託料および工事請負費は、町荻田地区と由津里地区へ県道拡幅工事による支障管の移設補償ということだが、いつごろ工事、工期が始まって、いつごろ終わるのか。そしてこの町荻田、由津里の辺りだけで終わるのか。また、入り口の場所はどこか。

答 県道拡幅工事の事業内容は、御津方向への左折レーンの増設である。場所は町荻田地内、中国銀行赤坂支店付近である。契約日は平成29年2月9日で工期は平成29年2月9日から平成30年1月26日である。

由津里地区は、ほ場整備事業で工事場所は由津里地内である。工期は平成29年9月1日から平成30年3月23日である。

複合型介護福祉施設整備工事請負契約の締結

問 請負契約の締結をしたが、契約の相手方のプ

レゼンテーションはどのような内容で、どのようなよかったのか。

答 新たな地域交流拠点の創出、共生型サービスの理念、地域防災拠点の整備といったコンセプトのもとにコンパクトにまとめられた施設の提案で、特に地域交流スペース、多目的スペースに外部からテラスへ直接出入りできるよう設置されており、周辺地域へ開かれた施設としての仕掛けが評価された。

問 工期はどうなっているのか。

答 施設の完成年度および施設の開業年度は、平成31年4月としている。

問 社会福祉協議会が行っているデイサービスとの兼ね合いは。

答 現行の介護保険制度では、これから市が整備する施設の中で行う小規模多機能型居宅介護における通所介護を利用する人は、現在社会福祉協議会が行っている通所介護は利用できないため、利用者が重複することはな

い。

問 市民病院の跡地へ建てると思うが、既存の建物の解体費用はこの中へ含まれているのか。

答 解体費用は含まれている。

問 選定委員会のメンバーはどのような構成になっているのか。

答 副市長、総合政策部長、財務部長、保健福祉部長、保健福祉部参与、建設事業部参与、熊山支所長、健康増進課長、秘書企画課参事を充てている。

問 設計・施工の中で完成予想図、イメージ図の設置は。

答 地元の人々が非常に期待している施設ということとは認識している。進行については、看板等を設置しながら地元の人にもアピールをしていく。

人事案件

次のとおり同意とした。

農業委員会委員

森末 楯城（戸津野）
岡森 裕幸（周匝）
岡本 忠司（黒本）
松岡 康範（小原）
重松 誠一（惣分）
遠藤登茂太（穂崎）
武下 朝昭（鴨前）
房延志津子（上仁保）
東本 征夫（日古木）
藤原 数雄（熊崎）
重松 積（東窪田）
末行 守（北佐古田）

今井田晴夫（光木）

金光 文江（野間）

山本美津恵（沢原）

和氣 啓太（徳富）

成見 清隆（奥吉原）

杉本 宏正（広戸）

國塩 尚志（神田）

【任期】

平成30年3月7日（
平成33年3月6日

請願

請願第2号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願 【不採択】

【要旨】

米価が生産費を大きく下回る水準に下落し、多くの農家が米作りを続けられない状況が生まれている。また、安い米の定着によって、生産者だけでなく、米流通業者の経営も立ち行かない状況となっている。これでは、稲作農家の経営が成り立たないばかりか、水田の持つ多面的機能も喪失し、地域経済をますます困難にしてしまう。

米の生産数量目標を達成した販売農家に対して、生産に要する費用（全国平均）と販売価格（全国平均）との差額を基本的に交付する「農業者個別所得補償制度」を復活して、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求める。

請願第3号 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願 【不採択】

【要旨】

本年7月に開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇にいたるまで、核兵器にかかるあらゆる活動を禁止した「核兵器禁止条約」が採択され、9月に「核兵器禁止条約」の署名が開始された初日には50カ国が署名した。

広島と長崎への原爆投下に見られる核の惨禍を体験し、その経験から戦争放棄を定めた憲法を持つ日本は、核兵器の禁止に賛同し、推進の先頭に立つことが強く求められている。日本政府は、すみやかに「核兵器禁止条約」に調印することを求める。

【賛成討論】

核兵器が抑止力という考えは間違っている。核兵器を持つことでより安全で平和になるのであれば、全ての国が核兵器を持った状態が最も安全で平和な世界だということになってしまう。そんな世界には誰も住みたくない。

この条約の署名が今後100カ国に迫る状況になれば、公然とは否定できない規範として政治的力を持つようになる。

そして、唯一被爆国でありながら核兵器禁止条約に反対する日本政府は一貫性がない。日本は核廃絶を目指す道義的責任がある。

核兵器核廃絶を望む市民の切実な声にこたえていくために賛成してもらいたい。

平成29年12月第5回赤磐市議会定例会審議結果（※ 賛否の分かれた議案のみ掲載しています。）

議案番号	案 件	議決結果	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	金谷文則
同意第11号	赤磐市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることの同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第20号	赤磐市農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	—
議 第 6 9 号	赤磐市吉井ライスセンターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	●	○	—
議 第 7 0 号	赤坂天然ライスの指定管理者の指定について	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	—
請 願 第 2 号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	不採択	●	●	○	○	●	●	●	●	○	欠席	●	●	○	●	○	●	●	—
請 願 第 3 号	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願	不採択	○	●	○	○	●	○	●	●	○	欠席	●	●	○	●	○	○	●	—

○＝賛成 ●＝不賛成

※金谷文則議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わることができません。

3月定例会 の お知らせ

次回3月定例会は、2月22日から3月20日まで27日間の会期で開催予定です。詳細な日程については2月中旬に決定し、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。

インターネットでの本会議配信の 閲覧件数をお知らせします

平成29年実績

(延べ件数)

	生中継	録画	合計
1月	0	41	41
2月	546	435	981
3月	0	220	220
4月	327	204	531
5月	0	246	246
6月	939	729	1,668
7月	0	344	344
8月	203	63	266
9月	1,086	637	1,723
10月	0	158	158
11月	335	159	494
12月	238	255	493
合計	3,674	3,491	7,165

赤磐市議会では、インターネットでの本会議配信を、平成23年6月議会から開始しています。

仕事や家事の都合で生中継が見られない、という人のために録画配信もしています。録画は生中継から約1週間後から見ることができ、左の一覧表にあるように、平成29年実績では1年間に延べ7165人が閲覧しています。

今後とも皆さんの閲覧をお待ちしております。

総務文教常任委員会

12月11日に総務文教常任委員会を行った。
議案4件について審査した。

大規模災害被災地支援に関する条例

問 被災地支援の活動範囲は日本国内か。

答 日本国内での活動を考えている。

問 大規模災害が起こった場合、被災地の体制ができるまでに時間がかか

ると思うが、支援要請があつてから支援を行うというのか。

答 支援要請を待つと出遅れることになる。支援を行った後での連絡調整も考えていく。

問 条例に対する市長の考えは。

答 大規模災害で災害支援を行う場合、災害対策基本法に基づき



市民バス

都道府県知事の要請に応える形で全国各地から支援を行う。その場合は、災害対策基本法に基づいての支援である。しかし、スピードを要する場合で、市の独断で派遣をするとなれば、公務遂行性を補償する関係条例が

なく、派遣先での公務災害等の補償に問題が生じてくる。公務遂行性を提起した形での派遣、また、迅速な対応を図るためにこの条例を制定する。

問 被災地支援会議について、詳しく説明を。

答 市長を会長とし、副市長、部長級の職員で構成している。被災地に行くべきかどうか、何をすべきか、また、どの職員を派遣するかを決定する組織として考えている。

問 条文に市民の共助意識の高揚に資することを目的とするところがあるが、どのように市民の共助意識を高めていくのか。

答 広報紙等により、市が被災地支援を行っており、有事の際には被災地へ駆けつけることを知ってもらい、共助意識の高揚を図りたい。

問 その他市長が特に必要と認める支援とは何か。

答 被災者の受け入れを視野に入れた上で、今後の支援をどうするか、また、被災地以外の避難者への対応等である。

問 被災地への職員派遣について、災害に対して知識を持っていないければ、被災地へ行つたとしても、何も支援ができないのではないのか。

答 支援を行っている県内の各自治体と支援内容の協議や活動事例を参考にして、連携を取りながら被災地へ派遣する。

問 防災士や消防団は条例と関わりがあるのか。

答 防災士は、ボランティアの枠の中であり、この条例では対応できない。また、消防団については、消防団規定に基づいて、別の活動となる。

一般会計 補正予算

問 債務負担行為の市民バス運行業務委託料について、利用実績の説明を。

答 平成28年度の実績だが、西山・高陽南線については1659人、1便

当たりの平均輸送人数が5・9人、高陽北西・高月線については409人、1便当たりの平均輸送人数が1・4人である。

問 高陽北西・高月線の利用者が少ない原因は何か。

答 現在アンケートを実施し、調査をしている段階である。

問 予備費3000万円は、災害復旧のためだけの費用か。

答 台風18号および21号

での応急復旧の費用である。

問 教育委員会の特別支援学級の増加について、桜が丘小学校が3学級増となっているが対応できるのか。

答 来年度から、現在家庭科で使っている教室を半分に分けて2学級使用し、多目的教室を1学級としての運用を考えている。

問 特別支援学級を3学級増やすのであれば、増築を検討するべきではないか。

答 長期的に特別支援学級が増えていく場合は、増築を検討していく。

問 今の職員室が狭い状況をどう考えているのか。

答 職員室の配置の変更や物の整理を行い、来年度に向けて工夫をしていく。



桜が丘小学校

厚生 常任委員会

12月7日に厚生常任委員会を行った。
議案8件について審査した。

財産の取得 (CT購入)

問 入札の状況・今後の利用計画について。

答 平成29年10月19日に一般競争入札の公告、11月13日に開札、応札は1業者で東芝メディカルシステムズ株式会社岡山支店。決定金額は2978万円、履行期間は契約締結日から平成30年3月20日まで。利用件数は月に20件から30件を見込んでいる。

子ども医療費給付に関する条例の一部改正

問 条例改正に当たって、予算は2カ所出ているのか。また、全体の予算はいくらになるのか。

答 印刷製本費と郵送料を補正予算で出してお



竜天くつし夢の里コミュニティハウス

り、合計32万円である。
竜天くつし夢の里コミュニティハウス指定管理者の指定

問 この施設の用途は。

答 戸津野区と中勢実区が合同で活用し、栄養委員・愛育委員・消防団・市の検診などに使っている。

問 両方の地区には集会

補正予算

一般会計

問 子ども医療費給付について現物給付というのはどういったものか。

答 自己負担分3割のうち1割のみ医療機関で支払い、2割は保険者が支払う仕組みである。

問 高校生でない対象年齢の子はどうか。

答 自分の保険証を持っている人は

対象外になる。保護者等が扶養して、保険証が保護者等の名義になっている人は対象になる。

問 私立保育園職員の処遇改善に伴う保育委託費の増額について、対象になるすべての園から申請があったということか。

答 私立の11園全てから申請があった。

問 公立保育園との関係について説明を。

答 公立保育園の正規職員の給料は市の給料表にのっとっている。臨時職員については、近隣の状況を見て、総務課・教育委員会と調整をしながら考えていきたい。

介護保険 特別会計

問 システム改修は国の全額負担になるのか。

訪問看護ステーション事業特別会計

問 利用が増えており、

職員を増やすための予算か。

答 当初は利用者を月平均180人程度見込んでいたが、240人の利用実績があり、そのため診療所の職員を兼務にした。

複合型介護福祉施設整備工事請負契約の締結

問 今回の契約金額が7億5700万円と想定事業費8億6700万円から1億1000万円ほど少なくなっているが、どのあたりを縮小したのか。

答 金額が下がった大きな理由は2600平方メートルで予算を計上しているが、今回約2200平方メートルでの設計提案だったことによると考えている。

問 最近建てられた市の施設と比べて、平米当たりの単価はどうなっているのか。

答 赤坂ひまわりこども園が1平方メートル当たり32万1616円。今回の複合



赤磐市複合型介護福祉施設（イメージ図）

型介護福祉施設が1平方メートル当たり29万6261円となっている。

問 旧市民病院の解体費用はいくらか。

答 約8000万円である。

問 金額より優先させたデザインや機能の説明を。

答 松木周辺は熊山地域の中心街である。地域の人と交流が図れるようなデザインで、将来的に賑わいが創生できるのではないかと所が大きなポイントである。

産業建設 常任委員会

12月8日に産業建設常任委員会を行った。
議案13件について審査した。

指定管理者の 指定

福田会館

問 会館の設置目的はわかるが、実際には何に使われているのか。

答 地域の団体が特産品の開発などの活動に使っ

ている。

問 地元で維持管理してもらった方が妥当だと思うが、今後の方針は。

答 これまでの経過や地域の意見もある。しっかりと地域の意見を聞きながら検討していく。

問 利用状況はどうか。
答 平成28年度は延べ約1000人である。

問 ファシリテイマネジメントの計画と合わせ、市はどのように考えているのか。

答 公の施設見直しの提言の中で地元移譲の指摘がある。地元移譲について

福田会館

石農村広場

は関係区と協議を行ったが、理解してもらえない部分も現実にある。地域では設置目的に沿った利用をしてもらっており、今しばらく地域活動の拠点施設として活用したいと考えている。

問 利用状況はどうか。
答 平成28年度は延べ942人である。

赤坂天然ライス

問 処分制限期限は平成33年であり、指定期間を5年から3年にすれば契約も新しくできるのではないか。

答 民間事業者が健全で安定した運営をしてもらう観点から5年にしている。

問 今まで何度か事業者が代わり、修繕に多額の



赤坂天然ライス外観

費用がかかっている。なぜ使用料を徴収しないのか。

答 設置目的に沿って処分制限期限までは適切に利用していくという考え方で、その目的に沿った相手方を指定管理者としているため使用料は徴収していない。

問 桜が丘東6丁目にあった給食センターは、年間70万円ほどの使用料を徴収している。赤坂天然ライスについても、固定資産税に該当するぐらいの額をもらってもおか

しくないのではないか。

答 給食センターは設置目的としての使用が終了したため普通財産に振り替えられ、その活用として民間事業者から使用料を徴収している。赤坂天然ライス

は設置目的を持った行政財産であり、処分制限期限までは目的に沿って管理していくことが必要と考えている。

問 指定管理、使用料の徴収について基本的な考え方を説明してほしい。

答 赤坂天然ライスは地域産の食材を使用した食品加工業務と地元雇用で地域の農業振興を図ることを目的に設置された施設である。地域振興を図る必要があり、処分制限期限以降もこうした取り組みを進めていきたいと

考えている。

使用料については、前事業者が撤退し公募を続けたが次の事業者が見つからなかった経緯があり、使用料をもらわないというところで設置目的に沿った取り組みをしてもらえる事業者を選定したのが前回の指定管理だった。今回この事業者が当該目的に沿った活動を十分行っているという判断のもと、引き続き管理してもらいたいということとして提案している。

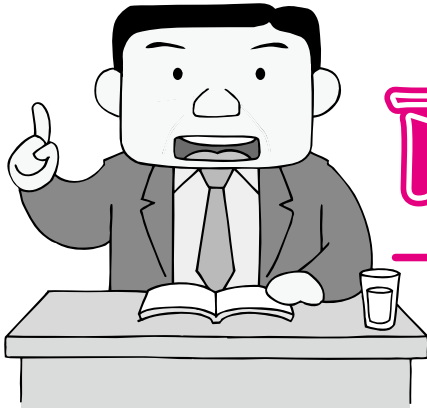
是里ワイン記念館

問 処分制限期限が平成26年だが、契約内容の見直しをしたのか。人件費はどうなっているのか。
答 契約の変更はしていない。人件費は指定管理料の施設管理委託料に入っている。

是里ロッジ

問 改修の予定はあるのか。
答 屋根の改修についての要望がある。

一般質問



市の考えを問う

12人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問

吉井中学校プールの完成はいつになるのか

答

平成30年10月の完成を目指して整備する



北川勝義議員

問 市は、広域バスや市民バスなどを運行しているが、中山間地などの市

周辺部では、便数も少なく買い物や医者にかかるにも大変な思いをしている。そこで、市全体の交通体系の見直し方針等について尋ねる。

答 来年度「赤磐市地域公共交通網形成計画」を策定予定で、現在、地域の人や利用者に意見などを聞くとともに、通院支援バスを試験運行し、ニーズ調査をしている。

問 佐伯北診療所は、市北部地域の医療拠点であるが、駐車スペースが数台しかなくて困っている。

答 診療所前の駐車場がいつばい場合は、佐伯北郵便局横の市有地に駐車をお願いしているが、状況を確認し対応する。

問 「NPO法人地球年

代学ネットワーク」が10月に旧備作高校跡地に開設した「地球史研究所」に対し、積極的に連携・支援をすべきではないのか。

答 研究所の活動が市北部地域の活性化に十分に寄与するものになるよう、「地球史研究所」と連携して取り組んでいく。

問 「赤磐市立小中学校プール整備計画」が策定されたが吉井中学校プールの完成はいつか。来年の授業に使用できるのか。

答 現在、設計を進めており、今年度末までに建設工事の契約を行い、来年10月の完成を目指す。

問 学校給食センターの民間委託について、現状と今

後の考え方は。

答 行財政改革の観点から、正規調理員を採用していないが、学校給食の質を低下させることなく、安全・安心な給食を提供できるよう努めている。民間委託の検討に当たっては、学校給食共同調理場運営委員会、PTA、学校関係者等へ十分な説明を行い、意見をしっかりと聞きながら慎重に検討していく。



佐伯北診療所駐車場

表紙のひとこと

1年間の無病息災を願うとんど焼き

1月21日に桜が丘西8丁目グラウンドで行われたとんど焼きの写真です。

地元の皆さんが持ち寄った正月飾りや書き初めなどをたき上げて、この1年がよい年になるよう無病息災を願いました。

福祉ゾーンへの 進入路整備を要望する

答 地元区の意見や関係者との調整が必要である



行本恭庸議員

えを問う。

答 合併前の山陽町において、福祉のまちの実現のため社会福祉協議会が老人福祉センターみのり荘を建設した。その後、高齢者生きがいセンター、山陽総合福祉センター、シルバー人材センターを整備し、福祉ゾーンとして整備してきた。老人福祉センターは平成26年度福祉避難所としての指定を行い、耐震補強および改修工事を行った。今後も整備当時の理念を充実・発展させて、福祉の拠点として有効に活用したいと思う。進入路整備については、利用目的に沿って安全・安心を確保できるよう検討が必要と

思う。具体的な方策としては、福祉ゾーンへの緊急時の対応も含めて、大型自動車も考慮は必要と思っているが、あらゆる角度の検証が必要と考えている。

問 検証していくとの答弁だが、市長の任期は残り3年4カ月ほどである。その方向へ向かうように、考えを聞く。

答 実現に当たっては、地元区の意見、池を管理している周辺の区の意見や、社会福祉協議会の考え方など、調整をしながら実施しなければならな

問 足王温泉、老人福祉センターだが、高齢化が進む中、くつろぎの場として定着しつつある。昨年度福祉避難所として整備された。災害時の備えとしての役割は重要だ。幹線道路からの進入路が狭くスムーズにすれ違えない状況であり、利用者の安全を確保する必要がある。特に災害時の避難所としての利用を考えると、安全で安心の進入路整備について、市長の考



山陽老人福祉センター進入路

高校生の通学費補助を 早く実施すべき

答 市にあった補助制度を検討している



福木京子議員

太陽光発電施設について

問 山陽地域の岩田大池に6〜7割もの面積で太陽光パネルの設置の話が出ている。また、桜が丘東地域の住宅地にパネルが増えている。場所を考えないと地域住民は安心して暮らせない。市独自の規制条例を作るべきかどうか。

答 関係法令等により環境等を保全する一定の制限がかけられている。市独自の新たな条例は難しい。今後も周辺地域の人々の賛同や環境への影響等を考慮しつつ、事業者への対応をしていく。

新規就農者への支援を

問 現在、是里で若者



ブドウ畑（是里地内）

が新規就農でブドウ作りを頑張っている。是里には、すぐ借りられる住宅がない。新規就農してもううには、すぐに合う住宅がいる。久米南町等では、以前から住宅支援を行っている。

答 是里の事案は把握している。今後、他市町村の支援状況も参考にしながら、どのような支援策が有効であるかを含め検討していく。

子育て支援の充実を

問 子どもの多い桜が丘地域に児童館を設置すべきではないか。

答 拠点となる施設は必要と認識している。

問

ため池にソーラーパネル・
百害あって一利なし

答

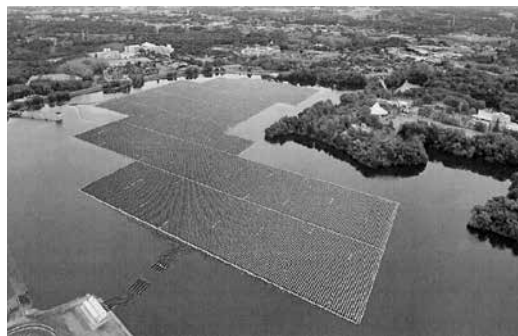
ため池の防災、機能など
安全を担保する



原田素代議員

問 現在ソーラーパネルの設置が耕作放棄地など山林野に「野立て」と称して樹木を伐採し急傾斜地に建設している。これは鳥獣害対策の「住み分け」に逆行するものである。彼らのねぐらや、餌場を伐採によって「開発」しソーラーパネルを山肌全体に設置することで、人が暮らす里山、住宅地にまで下りてくることはあたりまえの生態であ

問 6月議会から質問している映画の興



ため池へのソーラーパネル設置（他市の状況）

答 規制には国、県と相談しながら工学的根拠が必要である。

問 ため池にソーラーパネルを設置する申請が業者から出ているが、この事業は認めるべきでない。地元にとって20年間、池の上にパネルが浮かび続けることを想像してみたい。

答 成績は。行成績は。動員数は県内8752人、県外8394人。興行収入は県内1037万円、県外1082万円。

問 市が税金の540万円を含め、協賛金5400万円の約6000万円用意したのはなんだったのか。

答 残念だと思っている。

問 映画の小中学生用チケット代など281万600円が国の補助金が認められず、議会への相談もないまま税金を流用したことは深刻なコンプライアンス違反である。

答 深くお詫び申し上げます。

問

特別支援学級の新設と
支援員の増員を

答

学校生活の環境づくりに
努めていく



佐藤 武議員

問 山陽北小学校特別支援学級は知的障害と自閉・情緒障害を抱える22人の4学級で支援が行われているが、現在の施設環境では大きな問題を抱えている。

答 教室仕様ではないスペースを改装し、窓も1面しかなく、狭くて閉塞感がある。間仕切りに隙間があり、隣の教室の音が丸聞こえである。次年度以降はどの学級も増加

問 山陽北小学校特別支援学級は知的障害と自閉・情緒障害を抱える22人の4学級で支援が行われているが、現在の施設環境では大きな問題を抱えている。

答 教室仕様ではないスペースを改装し、窓も1面しかなく、狭くて閉塞感がある。間仕切りに隙間があり、隣の教室の音が丸聞こえである。次年度以降はどの学級も増加

答 学級新設と支援員の増員を行い、小学生が専門的な指導やケアを早期に受けられることが重要と考えるが、対策は。

問 特別支援学級については先生の意見を聞きながら、個に応じて安心して学習できる環境づくりに努めている。

答 北小学校は急遽、今年度1学級増となり、相談室を転用し備品の整備などで対応している。学級増が長期的に見込まれる場合、増築も検討する必要があると認識している。

問 支援員については人員・財源確保等から限られた人員になっているが、子どもたちが安心して学校生活が送れるような環境づくりに努めていく。



桜が丘西2丁目の街並み

問 桜が丘西2丁目の児童公園整備について

答 桜が丘西2丁目には児童公園がない。子どもたちを支える社会環境づくりとしての必要性和整備計画はどう考えるのか。

問 児童公園は児童が遊びやすスポーツに親しむことができる身近な施設であり、コミュニケーションが図れる場ととらえている。町内会長からの要望書も提出されており、公園用地の適地などについて町内会と連携を図りながら、公園面積、近隣環境、利便性、安全性、財源確保などもあわせて検討させてもらう。

問 コンビニ交付サービスの導入は

答 平成31年度までに導入する



治徳義明議員

とっても大きなメリットもある。

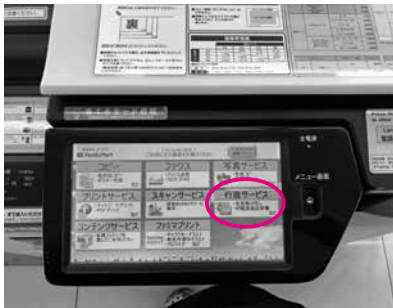
答 ①「コンビニ交付サービス」は利便性が高く市民サービスに寄与する施策である。国からの財源措置を活用しながら平成31年度までに導入する。②「コンビニ納税」は納税者の利便性の向上と納付機会の拡大に有効である。税システムの改修等に多額の費用が発生する課題等もあるが、前向きに検討する。

成年後見制度について

問 高齢社会を支える車の両輪として介護保険とともに2000年にスタートした成年後見制度は、高齢化の進展等で成年後見のニーズが確実に高まる中、制度利用が適切になされ

ていないとの指摘がある。そのような中、平成28年に成年後見制度利用促進法が施行され、本年に成年後見利用促進基本計画も閣議決定した。①市民後見制度の現状と課題は②この重要性を考慮すれば、市民後見制度の充実とともに、法人として成年後見を担う権利擁護センターや成年後見センター等の中核たる拠点の設置が必要不可欠と考えるが。

答 ①市民後見人は現在9名である。地域各地に市民後見人を配置することでスムーズな後見活動等ができるようになる。今後とも体制づくりを進める。②権利擁護センターは社会福祉協議会と設立準備の協議を行っている。



コンビニのマルチコピー機

問 緊急通報システムについて

答 システムの充実を図っていききたい



保田 守議員

答 ムの見直しが必要である。搬送先の医療機関を指定され、対応できない事案が発生しているのも事実である。この事例を1つの課題としてシステム改良・充実を図っていく。

山陽団地内の歩道の安全性について

問 山陽5丁目から3丁目の中央部分へ繋ぐレンガ道がある。40年ほどがたち、レンガの表面がすべりやすい状態である。幼稚園の通園路にもなっており、事故が起こる前に早急な対策が必要である。

答 門前緑道は昭和54年9月に供用開始され大規模な改修等はなく、現



門前緑道のレンガ道

在に至っている。指摘については、経年劣化等でレンガの表面に摩耗が見られる。今後、冬に向けて滑りやすいという状況があるので、早急に対応方法を検討する。

防犯灯のLED化にスピード感を持って

問 各町内会の事情でLED化が進んでいる所と全く進んでいない所があるが、スピード感を持って進めてほしい。

答 要望にスピード感を持って対応していけるように予算の確保・取り換え上限の見直し等の調整を図り、地区へ推進をしていく。

問 医療計画の策定を

答 作っていききたい



大口浩志議員

農業振興 特産品に磨き

問 パスカラン（洋なし）をまずは知ってもらおう対策をしてはどうか。

答 赤磐産が90パーセントを超えているので、PRの手法等、研究をしていく。

問 岡山米から赤磐米へ、一足飛びが無理なら、ステッカー等を作って袋に貼ることからはじめてみたかどうか。

答 認知度を高めるためのひとつの方法であると思う。

問 おにぎりの日を制定してはどうか。

問 販売戦略として、ジャパネットたかたの高田明さんに市の営業部長を頼んでみるな



パスカラン

ど、売り込みに工夫をしてはどうか。

答 米の消費拡大も含め、PRは大切であり、販売戦略を立てていく。

図書の実

問 図書の選定はどうなっているのか。

答 文章が読みやすく、正しい日本語で書かれたものを選んでいく。

問 教育現場で新聞を活用するという視点から、学校図書への新聞の配備は。

答 学校現場の要望に応じながら、図書の整備、新聞に触れる機会の充実に向けていく。

問 市長の任期中に誘致は可能か

答 非常に困難な状況である



永徳省二議員

で高校を誘致する気持ちはないと市民の声を聴くが、この声に対してどのように感じるか。

答 ①市のニーズに合致した高校の誘致を目指す。

②学区内の高等学校への進学率を上げ、県の方針が転換するような役割を果たす。③非常に困難な状況である。④回答せず。

問 ①誘致期限の言えない公約は公約になるのか。再回答願う。②市長は本気で高校誘致する気はないという市民の言葉に対してどう思うか。再回答願う。③桜が丘中学校や高陽中学校に市立中高一貫高校を作るべきと思うか。④市の総合計画に高校誘致を入れるべきと思うか。

答 ①1、2年でできるとは思っていない。公約



ひかり幼稚園

問 今春、桜が丘東1・2丁目の幼稚園児16人全員が、ひかり幼稚園に入園の状況で、広報あかいわの園児募集は指定園が桜が丘幼稚園になっている。住民が混乱し困っている。表示を変えるべき。次年度の募集から改善する。

について、全て答えたつもり。総合計画、人口ビジョンが公約である。②総合計画やビジョンの行く先に高校誘致もある。本気で取り組みはしている。③回答せず。④回答せず。

問 高齢者の自動車運転免許証 返納後の対応は

答 公共交通の再編を進めていく



大森進次議員

タクシーの運賃が1割引で利用でき、路線バスの運賃が半額になる。この制度の利用を勧めている。また、買い物代行、移動支援などについて、高齢者の生活に役立つ情報を収集し情報提供を行っていき、公共交通の再編を進めていく。

問 運転の危険があるのと、このことで免許を自主返納した場合の移動手段の相談や解決していく機関を設けてもらいたい。

答 現在、くらし安全課が総合的な窓口で支援している。

問 大きな事故を起こさないためにも運転免許証を自主返納しやすいように、申請方法や自主返納した場合に得られる特典サービスをもっとPRしていくべき。

答 できる限りの情報や

問 高齢者が運転免許証を返納したことにより、買い物、病院などに行く時の交通手段の確保に苦労している。市として、どのように考えているのか。

答 運転が危なくなった人には、返納をお願いしている。自主返納した65歳以上の高齢者は、警察署へ申請すると「おかやま愛カード」が発行される。これを掲示すると、

手段を広報紙、ホームページなどあらゆる機会を通じてPRしていく。

問 桜が丘中央分離帯があることにより店舗、医療機関の利用者が、目的地の箇所まで進入できず利便性が悪い。分離帯の植栽や草が高くなりUターン時に見にくく、危険で安全性にも欠ける。植栽に毎年市税で維持管理費が発生していることも考えると必要なのではないか。

答 安全を第一に利便性を今後も検討していく。

問 桜が丘中央分離帯がある道路に速度規制の標識をつけてもらいたい。

答 赤磐警察と速度規制の標識について協議を行う。



桜が丘中央分離帯

問 福島県浪江町と 友好姉妹都市締結の考えは

答 心と心を通う交流ができた 時期に提案する



光成良充議員

況をしつかりと国へ支援の要望をし、引き続き職員のパ遣を主に支援を続けていくことを町長と約束をした。今後も、少しでも早く浪江町が復興し復旧することを目指して、継続的に支援していく。

問 今議会で、赤磐市大規模災害被災地支援に関する条例の制定が上程されている。この条例の目的の中に、「市民の共助意識の高揚に資することを目的とする」とある。市の民間ボランティア団体で独自で支援されているところもある。市民を巻き込んで復旧復興の応援は。

答 浪江町と市の関係は風化させてはいけない。市民の人々と一緒にこの思いを

問 浪江町へは、市から平成26年4月より現在まで職員を1名派遣して復興支援を行っているが今後はどうするのか。

答 浪江町の馬場町長が本市にお礼に来たときの話で、震災前約22000人の人口が今年10月末現在、418名で町に人が戻ってくれない、その寂しさに心労を隠し切れない表情がとても印象に残っている。これらの状



福島県浪江町

共有し、未来に向けて永久的に深いきずなを結んでいくべきものと考えている。

問 市長と馬場町長は復旧復興に向けた固い絆で結ばれ、お互い行き来をして話をしている関係性があるので、市と浪江町で友好姉妹都市の締結を視野に入れてもいいのではないか。

答 今は町民が1人でも多く復帰、帰還されることに全力を投入する時期だと見る。これを何とか実現し、ある程度姿が見え、市民の人々と浪江町の町民の人々と、心と心を通う交流ができるという時期には、必ずそういつた提案をする。

子どもを優先に考える

問 通学費補助をどう考えるか。

答 中山間地域で通学に非常に不便で家族の人が大変苦労していることは認識している。通学費の補助は必要であると考え。公平で市民の人々に納得してもらえ補助制度のやり方をしなければならぬと考える。



吉井ライスセンター

問 副市長職に対する認識を聞く

答 市長を補佐し、職員と一緒に職責を果たす



下山哲司議員

問 行財政改革と子どもの給食をどう考えるか。

答 子どもたちに安心・安全でおいしい給食の提供は十分認識している。その中で、果たして民間委託がそれをクリアできるか、目標達成できるかという観点で総合的に検討していきたい。

吉井ライスセンターの問題点を聞く

問 利用が減ったり、地域に苦情があったりする施設でいいのか。

答 課題があることは認識している。課題解決に向け、本ライスセンターの利用者、市民の意見を今後もきちんと聞きながら、運営協議会に伝えて良い施設にしていく。

利用状況については、平成24年度53名、25年度46名、26年度46名、27年度39名、28年度39名である。利用者数の減少が見受けられる。

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会是一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員10人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）。

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置しておりますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>
ぜひご利用ください。

第4回

議会報告・懇談会を

開催しました

平成29年11月8日、10日の2日間、市内5会場で4回目の「議会報告・懇談会」を開催しました。開催にあたり、過去3回の「議会報告会」についての改善点を議論し、先進地などの事例も研究し、より市民が参加しやすく活発な意見交換ができるように、議会報告を中心としたものから、意見交換を中心とした「懇談会」をメインに企画しました。今回、お聞きしたご意見は3常任委員会ごとに「内容の確認」「委員会として調査」「市へ伝達」の3分類に仕分けして、今後の議会活動へ生かしてまいります。

また、参加者に回答していただいたアンケートでは、「懇談ができてよかった」「いろいろな意見が聞けて良かった」など新たな「懇談会」の方法に好意的な感想が寄せられました。一方参加者を増やすこと、若い人の参加、回数、運営方法など今後の課題も指摘されています。

次回以降はいただいたご意見を生かして、多くの参加をいただけるよう、参加しやすい「報告・懇談会」になるよう努めてまいります。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

皆さまからいただいた主なご意見（抜粋）

◎市役所本庁（7人）

- ・山陽団地活性化有識者会議は、行政と住民が一緒に力を合わせてやっていかなければならない。住民の声をもっともつと会議の中に入れていただきたいし、住民代表をもう少し多く委員の数を増やしていただきたかった。
- ・コンパクトシティへの取り組みについて検討するとともに、先進事例を視察すべきでは。
- ・赤磐市のテーマは何かを知りたくて参加した。まちづくりは幅が広いが、行政主導のまちづくりは失敗する。市民の声を主体に10年、20年の長いスパンをかけていくべきだ。
- ・イノシシが暴れまわる状況で、まちづくりどころではない。
- ・戦没者追悼式、遺族会の参加について、戦死者を弔うという観点からすれば、一般市民、児童・生徒の参加も促し、遺族以外の参列から追悼式の始まりではないかと思う。忠魂碑についても多くの市民から忘れられている。遺族の方が清掃等を行ってきたが公の施設として管理をしてほしい。
- ・まちづくりの拠点づくりが必要ではないか。
- ・赤磐のポテンシャルを生かすべき。
- ・議会のその日の予定が前もってわからない。何を審議しているのかもわからない。
- ・若者たちに夢を持たせる場をつくるべき。
- ・若い人たちが住み続ける魅力として何を求めているか考えてほしい。

◎赤坂健康管理センター（7人）

- ・「公民館学習活動推進事業」は吉井地域だけなのか。事業費30万円の内訳は。
- ・各事業にコンサルタントへの委託費が高額になっている。経験から職員でもできるような内容もある。精査してコンサルを決定しているのか。
- ・学校給食の民営化は、「安全、おいしい」を保証できることを約束してほしい。
- ・熊山の施設の「複合型介護施設」「対話型公募」の説明を。
- ・こども園の「病児保育」の要綱の説明を。
- ・就農支援センターの説明を。
- ・農地取得の1億8千万円〜2億円はどうなっているのか。
- ・防災士のための資料が作られていないのはおかしい。
- ・ふるさと納税をもっと活発に行って、子育て支援等に生かしてほしい。
- ・議会は予算、決算について慎重に審議してほしい。夕張市のような破綻を招かないようにしてほしい。
- ・「赤磐市をもっと住みやすいまちにするために」のテーマについて、「子育てするならあかいわ市」をキャッチフレーズにするなら、改善すべきことがあります。赤磐市の保育園は正規職員を増やして、いきいきと働ける場であることをアピールすれば、子育て中の移住、定住者は必ず増えます。
- ・学童クラブの充実も早急に進めていただきたい。
- ・以前赤磐市の学力のワーストワン、不登校、非行などの割合も大きかったが、今はどうなのか。

◎熊山保健福祉総合センター（3人）

- ・空き家が周辺環境を悪化するケースがある。解体に対する助成制度や活用に積極的に取り組んで欲しい。
- ・複合型介護福祉施設について
- ①複合型介護福祉施設と熊山診療所の連携を密にしてほしい。
- ②一般的に人員確保が難しいと聞くが、大丈夫なのか。
- ③地域交流の場としての活用に工夫をしてほしい。
- ④施設使用料金を早めに知らせてほしい。

- ・保育園は待機児童が発生しているのではないが、その為に幼稚園を延長保育等で対応して欲しい。
- ・公共交通について、きめ細かく乗り場を増やして欲しい。（フリー乗降エリア）
- ・議会報告会について、高齢化が進み、夜の参加は難しい。土曜日の午後等の開催を検討して欲しい。

◎桜が丘いきいき交流センター（17人）

- ・職員の人事異動で3年は早すぎるのではないか。
- ・市民活動、NPO等と市の連携ができていないのではないか。
- ・桜が丘東地区で道路舗装が十分でない地域がある。道路舗装をしてほしい。
- ・新下市からトマト銀行までの道路は赤磐市のメイン道路であるとともに顔である。砂川の美化とあわせ、改修すべきだ。
- ・赤磐市の活性化策、PRをしっかりやってほしい。
- ・山陽インターに赤磐市の名称をつける検討を進めてほしい。

- ・企業誘致の際に、赤磐工場等の名前を付けるよう働きかけをしてほしい。
- ・合併時の新計画ができていないし、議会での議論もないのではないか。
- ・まちづくりの観点から、公立高校の誘致をすべきだ。
- ・児童、生徒の学力向上対策を検討すべきだ。
- ・山陽団地活性化有識者対策会議では貧困問題はどのように議論されているか。
- ・町内会長会議に出席して意見交換してはどうか。
- ・赤磐市の税収アップを図る方策を提案すべきではないか。
- ・観光振興と観光客誘致を図り、金を落としてもらう方法を考えるべきだ。
- ・山陽インター近辺に企業誘致を。
- ・両宮山古墳を上手に活用すべきだ。
- ・最重要課題は山陽団地の活性化である。今のままでは子育て世代が入ってこない。
- ・本日の参加者は60歳以上。若い人が来ない事が問題であり、課題である。

◎吉井支所（14人）

- ・市内南北の交流が必要。
- ・診療所の位置は周囲が適地である。バランスよく医療施設を配置してほしい。
- ・地域の役員の選出ができない。集落が崩壊する。
- ・吉井の生き残り問題である。
- ・若者に帰れと言っても子供の教育が障がいとなっている。
- ・山陽中心のまちになっている。合併時はおいしい話ばかり。
- ・年々希望を失う。希望の持てる地域に。

- ・佐伯北診療所の夜間診療が必要。
- ・企業誘致のための特例対策が必要。
- ・敬老会祝い金（2千円）の使い方は現金で配りたい。
- ・通学路の清掃を長年続けているが、教師も子供も挨拶もしない。
- ・耕作放棄地対策が必要。
- ・買い物難民の課題。



皆さまから回答いただいた アンケート結果（抜粋）

問 今後、この会で話したいテーマ、取り上げて欲しいテーマをお聞かせください。

- ・まちづくり
- ・子育て
- ・介護
- ・市の活性化はこうなっているのか
- ・赤磐市のPR、知名度アップ
- ・高齢化対策
- ・最終処分場がいつ出来るか。
- ・街づくり
- ・子育てのこと

問 この会についての感想をお聞かせください。

- ・今日は新しい人達が見えられて、いろんな意見が聞けて良かった。
- ・地元選出の議員さんだけでなく幅広くご意見を聞くことができよかったです。もっとみんなが自由に発言できるようにして下さい。
- ・市民の意見を聞かれるのはいいと思います。
- ・いろいろな意見が出て良かったです。
- ・他の議員の意見を聞きたかった。

た。

・子育て時代の保護者の出席が少ない。

・テーマを決めてほしい。

・話しやすくて良かったが、他の方法もあるかもしれない

・参加人数が少ないのでびっくりしました

・度々開催してほしい

・懇談が多くよかったと思います。

・若者が参加するような取り組みがほしい。

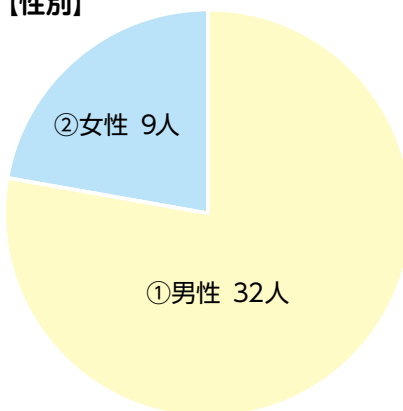
・会をもっと多く行ってほしい。

問 市議会全般についてのご意見がありましたらご自由に記入ください。

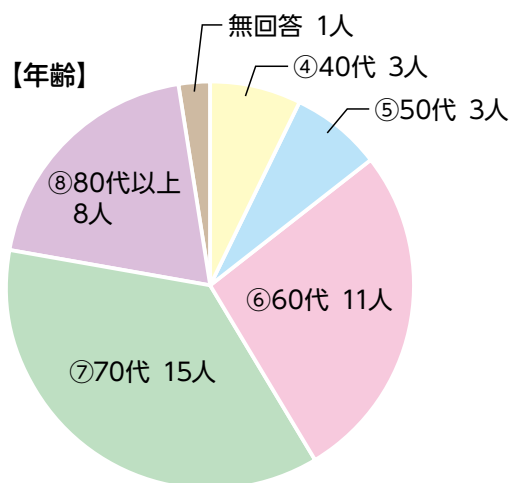
- ・高圧的で非民主的。
- ・若い母親が参加できる工夫がほしい。
- ・市民も要望が多く、自ら動く気がなさそう。
- ・議会ももう少し検討して戴くことがあり。（一般質問。地域での活動。町内会に出席して戴く。）
- ・学校、保育園、等々、現場へ出向いて市民の生活や子どもの状況を自らの目で見てほしい。
- ・議会報告がほしい。
- ・オール赤磐として赤磐全体をよくして下さい。

第4回議会報告&懇談会 アンケート集計結果（全体）

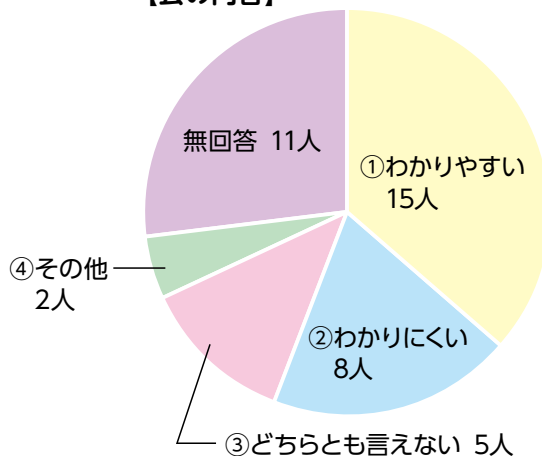
【性別】



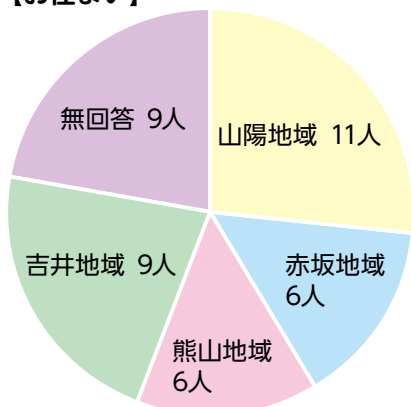
【年齢】



【会の内容】



【お住まい】



○参加人数
○アンケート回答人数
○回答率

83
33
%
41
人
48
人

行政視察

11月7日に福島県双葉郡浪江町議会の議会報編集特別委員会の渡邊委員長ほか5名の委員と事務局1名の計7名が、赤磐市議会議会広報編集特別委員会に行政視察に訪れた。当日は金谷議長、倉迫副市長、議会広報編集特別委員会から委員長、副委員長、事務局より2名出席して、応対をした。浪江町議会から、質問を受け、質問ごとに回答を行った。

問（浪江町・以下同様）議会だより編集の基本方針について。お年寄りにも読みやすいように文字数を少なく、なるべく大きい文字で箇条書きにするよう努めているが、貴市の編集方針は。

答（赤磐市・以下同様）広報紙は主に本会議・委員会・一般質問などの掲載としており、編集するに当たっては、議会の活動状況に関する情報等を

広く市民に提供することにより、市民の議会に対する関心と理解を高められるような気をつけて編集をしている。また、当市でも文字の大きさについて話があるが、ページ数や市の広報紙との兼ね合いもあり、今後の検討事項となっている。

問 掲載する写真の収集について。表紙は委員に割り当てて、その他のものは事務局で準備しているが、貴市の収集方法は。

答 表紙は委員で協議して事務局に撮影等依頼している。委員会、一般質問は原稿を書いた本人が準備するか、事務局に「このような写真を」と依頼している。平成29年6月号に議会だより表紙写真募集として、市民から応募してもらったように裏表紙に掲載をした。

問 一般質問の原稿について。貴市の一般質問記事の編集方針は。

答 一般質問をした本人

が原稿と写真の提出をするようにしている。文字数最大671文字で少々オーバーしても大丈夫だが、写真が小さくなる。申し合わせ事項を基に原稿を書き、入稿してもらい誤字脱字以外基本手を加えないが、明らかに表現が違う、議事録と合致しない場合など本人に確認をとって変更の依頼をすることがある。

問 できるだけ多くの市

民に議会だよりを読んでもらうために工夫をしていることについて。

答 現状何も行えていない。配布方法は市の「広報あかいわ」の配布に合わせ、それに挟み込んでもらっているが、どれだけの人に見てもらっているかは把握できていない。今後、より多くの人に見てもらえるよう取り組みで紙面作りをするとも現狀把握を考えている。

問 議会活動を理解してもらうための議会だよりの活用について。

答 当市の議会だよりは、原則定例議会のみで、市民から声をもらったり、定例議会以外の話題を掲載したことはなく、例外的に、議会報告会での意見やアンケートの結果を掲載したり、表紙の写真募集を掲載している。今後は、定例議会中のやりとりだけではなく、

休会中の委員会の動きや、視察の状況・内容を取り入れることによって議会活動がより見えるようになり理解してもらえると考えている。

約1時間半、当市の議会だよりについて話をし、「良くてきている紙面で大変勉強になった」という言葉だった。その後庁舎内を視察され帰路に着かれた。



あなたの写真で表紙を飾ってみませんか

議会だより表紙写真募集

赤磐市議会では、市民の皆さんに親しまれる「赤磐市議会だより」を目指し、議会だよりの表紙写真を募集しております。

市民の皆さんが撮った自慢の1枚をお待ちしております。

応募資格 赤磐市在住、在勤、在学の方

応募写真 赤磐市で撮影した風景、イベントや行事（地域の祭りなど）

応募規定

- ①縦撮りの写真データ（J P E G：10MB以下）。
A4全面サイズの印刷に適した画素数の写真。
- ②応募者自身が撮影した未発表の写真であること。
- ③人物が特定できる場合は、本人の了解を必ず得ていること。

応募方法 持参、郵送又は、電子申請で下記へ提出

- 持参：本庁3階議会事務局までお越しください。
- 郵送：〒709-0898 赤磐市下市344 赤磐市議会事務局
- ※郵送の場合はCD、DVD等の記録メディアに保存したものを提出してください。必ず住所、氏名、連絡先、撮影場所・年月日、写真の説明文を記載して送付してください。（様式は自由です。）
- 電子申請：赤磐市議会HPをご確認ください。

その他

- 写真データで提出をお願いします。（データ以外で提出の場合掲載できない可能性があります）
- 採用した写真については、議会だよりの表紙に掲載するとともに、採用された方の紹介を紙面で紹介させていただきます。
- 採用された方への連絡は紙面への掲載をもってかえさせていただきます。
- 応募された画像については、無償で赤磐市議会が使用することを承諾したものとします。
- 採用された写真はトリミング等の加工をさせていただく場合がありますのでご了承ください。

編集後記

今12月定例議会では市長より提案された45件の議案を審議し、全ての議案について可決しました。

また「一般質問」では12人の議員が登壇し、より良い市民生活となるよう様々な角度から質問が行われました。議事進行上、限られた時間の中で議員も一生懸命頑張っています。議会としても市民の負託を受けた議員が活発に活動できるように、制度改革を含め検討を深めているところです。

今後も、より良い議会を目指していきます。

議会広報編集特別委員

委員長 光成 良充
副委員長 治徳 義明
委員 大口 浩志
委員 保田 守
委員 佐々木 雄司
委員 佐藤 武
委員 永徳 省二